

全国産業資源循環連合会女性部協議会 プラスチック資源循環に係る勉強会

日時 令和7年7月15日(火)14:00～16:00
場所 オンライン(Zoom)
参加者 女性部会員・コミュニティメンバー20名
主催 全国産業資源循環連合会女性部協議会

女性部(東久保真弓会長)は、全国産業資源循環連合会女性部協議会が主催するプラスチック資源循環に係る勉強会にオンラインで参加しました。

富山県で最終処分場をはじめ、リサイクル事業、アグリ事業などで地域貢献と事業拡大を実現されている株式会社富山環境整備のイノベーション推進担当 今井麻美氏を講師にお迎えし、「日本の廃プラスチックの資源化状況について」というテーマでご講演いただきました。プラスチックリサイクルの法制度、株式会社富山環境整備におけるプラスチックリサイクルの歴史、廃プラスチックの資源化状況、循環推進に向けた取り組み、さらに良質な再生プラスチックを国内循環させるための課題などについても、共有いただきました。

今井氏より、「リニアエコノミーの考えから脱却し、『プラごみ』を資源として循環していくために

は、バージン樹脂と同等の性能を再生材に求めるのではなく、再生材を『再生材』として上手に活用していくことが重要です。こうした取り組みにより、国内プラスチック資源の循環促進、サーキュラーエコノミーへの移行が実現すると考えられます。それぞれの強みを活かしながら、プラスチックリサイクルを推進していきましょう。」と力強くお話いただき、勉強会は閉会しました。



使用済み切手運動 通年事業

使用済み切手を集めてアジア・アフリカに健康を届けよう

日時 通年
主催 公益社団法人日本キリスト教海外医療協力会

女性部(東久保真弓会長)は、公益社団法人日本キリスト教海外医療協力会が主催する「使用済み切手運動」に賛同し使用済み切手を集めています。

「使用済み切手運動」とは、公益社団法人日本キリスト教海外医療協力会が、1964年に日本で初めて行った使用済み切手による国際保健医療保険協力活動で、現在も全国から寄せられる使用済み切手や書き損じハガキ、外国コイン、古本などが、アジアやアフリカの保健医療協力のために役立てられています。

協力会に集められた使用済み切手は、ボランティアによって仕分け整理が行われた後、全国の切手コレクターに発送し換金されます。換金額は保険医療従事者を海外に派遣するワーカー派遣、保険医療を学びたいと願う人への奨学金、現地の人々の力を活かし大きな効果を得る協働プロジェクトといった国際保健医療協力活動に使用されています。



5,000枚の使用済み切手を換金すると約1,800円になり、例えばタンザニアでの看護学生ひとりの1年分の教科書代になります。

ひとりひとりの小さな協力が、健康を届けるための大きな力になります。関心がある方はお気軽に女性部にお声掛けください。